

1. 受け取り・作業準備

① 標本の受け取り



2011年5月13日と5月19日に、岩手県立博物館より、合計600点の被災標本が送られてきました。

被災標本は、岩手県立博物館のスタッフらによって、腐敗を遅らせるための応急処置（アルコールの噴霧等）が行われ、チャック付のビニール袋に10点ずつ入れられていました。

少しでも腐敗を遅らせるために、冷蔵宅配便で届けられました。

② 冷蔵庫で仮保管



受け取り後は、すぐにダンボール箱から標本を出し、冷蔵庫へ入れました。少しでも腐敗を遅らせるため、本格的な標本修復作業がはじまる直前まで、冷蔵庫で仮保管しました。

慎重かつ丁寧に そして迅速に

③ 標本を取り出す



陸前高田市博物館では、植物標本が1点ごとにビニール袋に入れて保管されていました。ビニール袋から引き出すと標本が壊れるおそれがあるので、ビニール袋をハサミで切り、慎重に標本を取り出しました。

ビニール袋に張り付いている植物破片は、ビニールごと適度な大きさに切り取って保管しました。

